資料利2-1 別紙資料 (NTT東日本·西日本提出資料)

INSネットと代替案・補完策の比較

性 類		アクセス	品質	利便性(便益)			負担			
		網		回線設置の手続	利用可能性	その他	基本料·利用料例 (税抜)	通信料	機器更改 の必要性	
代替案	ひかり電話 データコネクト	アダプタ無端末更改有アダプタ有端末更改無	光	・IP区間を優先制御により提供(ベストエフォート型よりも低遅延・低データ損失の安定した通信品質)	・別途、光回線の 契約が必要 ・利用場所までの	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・電話番号を利用し て接続先を指定す ることが可能	※3 3,300円/月	・全国一律料金 ・64kbpsの場合、 INSネットの通信 料よりも安い(1 円/30秒)	有
	ip-VPN等	アダプタ無端末更改有	光	・IP-VPNの通信品質はサービスによって異なる・優先制御を利用するフレッツ・VPNプライオについては、ベストエフォート型よりも低遅延・低データ損失の安定した通信品質 ※2	・利用場所までの 光回線敷設が必要 (光回線の敷設が できない場所が 存在する)		・様々な端末や回線 の利用が可能 ・広帯域・大容量の 通信でインターネッ ト等他用途との重 畳利用が可能	※4 〈フレッツ・VPNワイト [*] を 利用する場合〉 7,000円/月 ^{※5}		
	(WANサービス)	アダプタ有端末更改無	, 3					〈フレッツ・VPNフ° ライオ を利用する場合〉 12,400円/月 ^{※6}		
	無線(LTE、3G等)		無線	・データ損失等を含めた総合的な通信品質は各社のNWや電波状況、利用状況(混雑状況)等によって異なる・LTEについては、固定プロートルントでと遜色のない低遅延(無線アクセス区間~5ms*)	・別途、移動体通信の契約が必要・回線敷設工事は不要		・インターネット等他 用途との重畳利用 が可能	1,000円程度 ^{※7} /月~	_	
補完策	甫 記 記 だ データ通信		メタル	・IP区間を優先制御により提供する方向で検討中	・契約面は今後検討・メタル回線をそのまま利用(変更不要)	・INSディジタル通 信モード終了と同 時に提供開始 (終了時期は検 討中)	_	今後検討	今後検討	無
(参考)INSネット		メタル	・遅延 ~40ms ・データ誤り ~0.1% ・帯域保証有	_	・「固定電話」をIP 網に切替えた時 点でディジタル通 信モードは提供 終了	_	(住宅用) ※8 3,030円/月 (事務用) 3,780円/月	・距離別料金 ・区域内8.5円/3 分等	_	

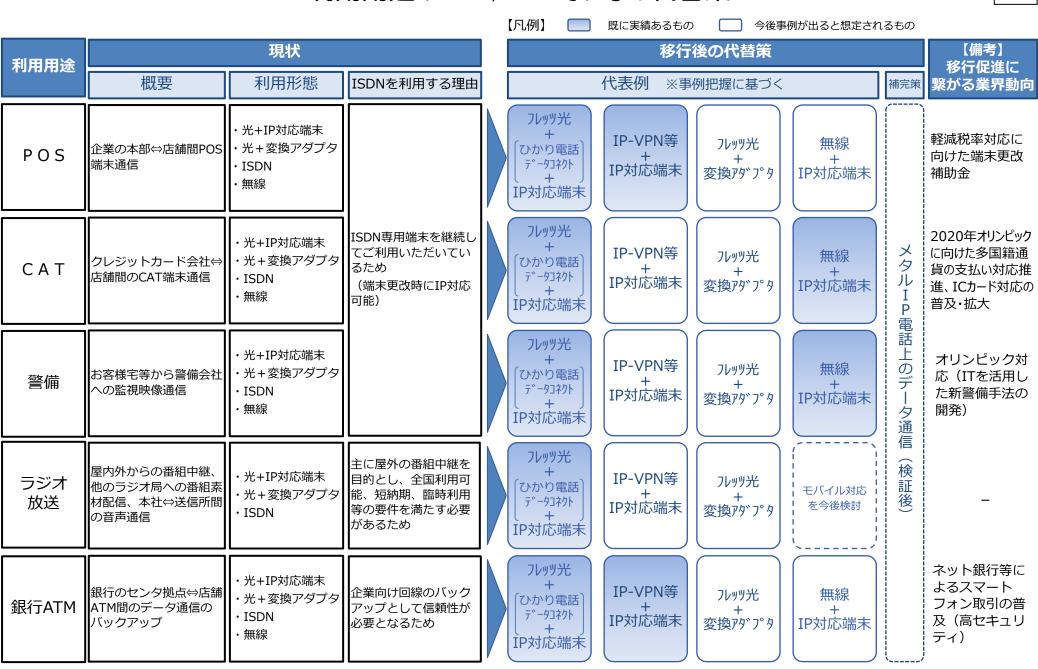
※1 当社が提供するフレッツ・VPNワイド/プライオ(東のみ)・ビジネスイーサワイドの他、他事業者が提供するIP-VPN・インターネットVPN・広域イーサネットも存在。※2 優先制御を利用できるのは、送受信者双方がフレッツ 光ネクスト プライオ10(41,100円/月)かフレッツ 光ネクスト プライオ1(20,000円/月)を契約している場合。※3 フレッツ光ライトファミリータイプ(東の場合)(2,800円/月)+ひかり電話 基本プラン(500円/月)。※4 1VPN拠点あたりの東の料金例。フレッツ・VPNワイドの場合、別途、VPN管理者料金(1,800円/月~)が必要。※5 フレッツ光ネクストファミリータイプ(5,200円/月)+フレッツ・VPNワイド参加者料金(1,800円/月)。※6 フレッツ光ネクストファミリー・ギガラインタイプ(5,400円/月)+フレッツ・VPNプライオ料金(7,000円/月)。※7 料金は各社が提供するプランによって異なる。※8 施設設置負担金をお支払いの場合は▲250円/月。

代替案・補完策の主な特徴

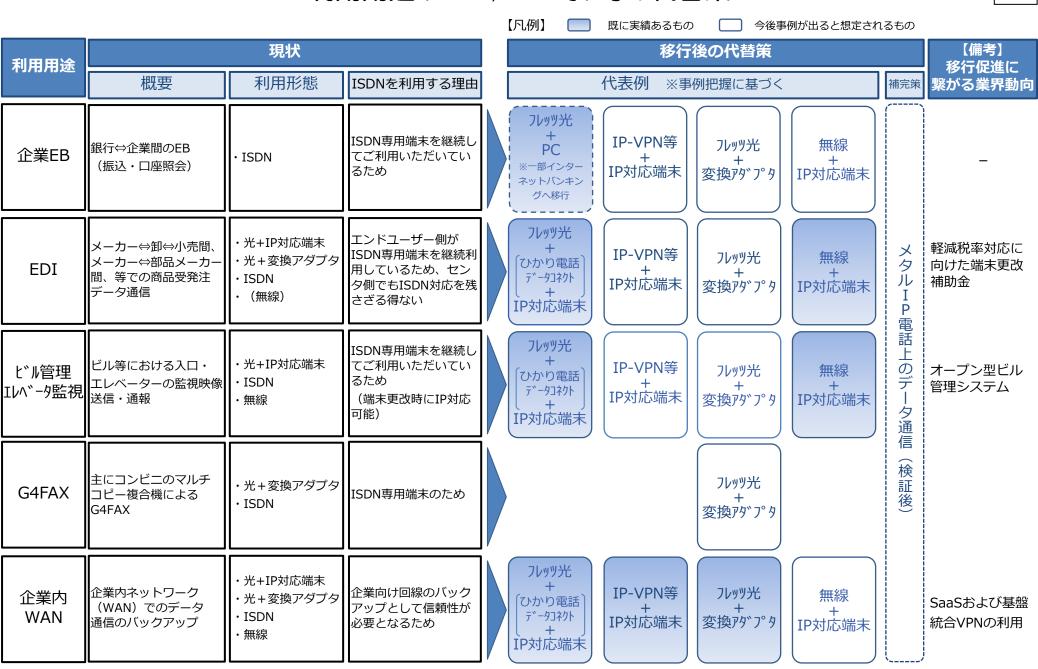
- ◆ 各代替案・補完策の主な特徴は下表のとおり。
- ◆ 利用料金、通信品質、回線設置の手続き等、それぞれ異なるため、最適な代替案・補完策は、お客様のご利用環境やご要望による。

	種類		アクセス網	主な特徴	(参考)想定されるお客様例	
	ひかり電話 データコネクト	アダプタ無端末更改有	光	・従量制の通信料。トラヒック量が少ない場合、低料金で利用が可能。 ・ベストエフォート型よりも安定した通信品質。	・トラヒック量が少ないお客様 ・高い通信品質が必要なお客様	
		アダプタ有 端末更改無		・電話番号(OAB~J番号)を利用して接続先を指定することが可能。	・高い通信品質が必要なの各様 (ex:銀行、店舗等)	
代替案	IP-VPN等 (WANサービス)	アダプタ無端末更改有	光	・特定の拠点間を仮想閉域網でつなぐため、外部からのアクセスに対して高い セキュリティを確保することが可能。 ・サービスによっては、ベストエフォート型よりも安定した通信品質。	・広帯域・大容量の通信用途のあるお 客様 ・アクセス回線によらず高いセキュリティ環	
**		アダプタ有 端末更改無		・広帯域・大容量の通信を、定額で利用することが可能。 ・様々な利用用途で用いられる通信サービス(音声・各種のデータ通信)を 統合的に利用することが可能。	境を構築したいお客様 (ex:企業間NW等)	
	無線(LTE、3G等)		無線	・光回線の敷設が困難なエリア等での利用、即時の利用開始が可能。 ・MVNOを利用することにより、低料金で利用が可能。	・光が利用できないエリアのお客様 ・低料金のデータ通信をお求めのお客様 (ex:ビル管理、店舗等)	
補完策	ボー・メタルIP電話上での データ通信		メタル	・固定電話のIP網への移行後も当面の間、ご利用中のISDN専用端末を継続して利用することが可能。 ・ベストエフォート型よりも安定した通信品質(検討中)。	・ディジタル通信モード終了時期までの 端末更改が困難なお客様	

利用用途 (POS,CAT等) 毎の代替策



利用用途 (POS,CAT等) 毎の代替策



利用用途毎のニーズを踏まえた代替策

	利用用述母の一一人を踏まえた代省東						
	途別 課題	ISDNを利用する理由	当社の考え方	代替策(例)			
	共通課題	・従来からのISDN専用端末あり 端末更改時期<最大10年程度> 更改費用負担 利用し易い月額利用料	・既にオールIP化対応(フレッツ光+IP対応端末)を行っている事例もあることから、端末のライフサイクルに合わせたIP化を実施提案	・フレッツ光+IP対応端末			
	題	・センタ側の意向が定まらない為、エンド側が切替検討不可	・センタ側でIP対応端末を導入以降、順次 エンド側のIP対応端末の移行を実施	2			
個別課題	企 業 E B	・ <u>ISDN専用端末を継続してご利用いただいて</u> <u>いるため</u>	・全銀協や関連ベンダとIP対応に向けて 協議を実施中	・フレッツ光+PC ※-mインターネットバンキングへ移行 ・IP-VPN等+IP対応端末 ・フレッツ光+変換アダプタ ・無線+IP対応端末			
	銀 行 A T M	・データ通信のバックアップ利用	・異なる網を利用して、サービス提供を行	・フレッツ光+(ひかり電話 データコネクト)+IP対応端末 ・IP-VPN等+IP対応端末 ・無線+IP対応端末			
	企業内 W A N		うことで冗長化を図る	・フレッツ光+ (ひかり電話 デークコネクト)+ IP対応端末 ・IP-VPN等+IP対応端末 ・フレッツ光+変換アダプタ ・無線+IP対応端末			

利用用途毎のニーズを踏まえた代替策

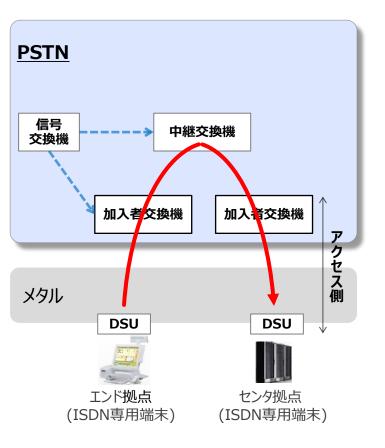
利用用途		ISDNを利用する理由	当社の考え方	 代替策(例)	
1 37 13	713.2	1001(17)7 0-王山		TVIDAL (I/J)	
個別課題		・リアルタイム型での帯域保証 (〜20khzのステレオ音声を安定して伝送可)	・IP環境において安定した伝送が可能か 検証中		
	ラジオ放送	・日本全国利用可能	・光未提供エリアへの対応について検討中 ・「メタルIP電話上のデータ通信」及び無 線は、日本全国利用可能		
		・ <u>MDF下部での引き回し</u>	・光については、技術改善等を踏まえた提供方法を検討・「メタルIP電話上のデータ通信」は、現行のISDNと同様に引き回し可能	・フレッツ光+ (ひかり電話	
		・ <u>短納期開通</u> <u>(申込〜開通まで5日〜2週間程)</u>	・光の納期短縮について検討中 (申込〜開通まで5日〜2週間程)・「メタルIP電話上のデータ通信」は、現 行のISDNの納期と同じ	データコネクト)+ IP対応端末 ・IP-VPN等+IP対応端末 ・フレッツ光+変換アダプタ	
		・電話番号を利用した容易な発着信 (ダイヤルアップ)	・端末を更改しオールIPへ移行する場合、 IPアドレス等の事前設定が必要 ・データコネクトあるいは「メタルIP電話 上のデータ通信」を利用する場合、現行 の電話番号を利用した発着信が可能	・当面の対応として「メタルIP 電話上のデータ通信」を検討	
		・臨時利用(短期利用)	・短期利用は可能		
		・ <u>低コストな工事料金</u> (代表的な工事料金 10,300円)	・光については、ISDNと同水準の低コスト提供は不可 (代表的な工事料金 18,000円)		

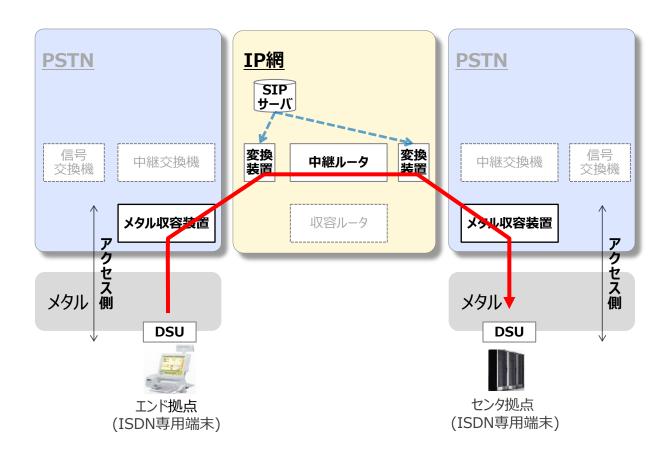
補完策の提供の仕組み

- ■補完策は、メタル収容装置を経由してデータ通信を行うことから、アクセス側の利用形態は変わらない。
- ■コアネットワークはPSTNから移行するIP網を利用する。

INSネット

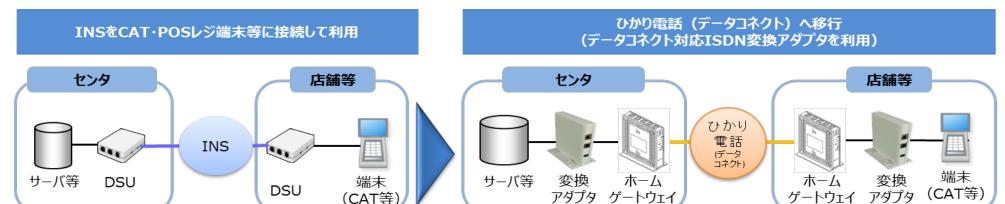
補完策 (メタルIP電話上のデータ通信)





(参考)「フレッツ 光ライト」とひかり電話(データコネクト)により代替するご提案例

【NTTプレゼン資料9頁においてお示しした移行例】

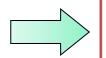


(1) 月額料金比較例(東日本の場合)

INSネット64・ライト

回線使用料(事務用) 3,780円 INS通信料 2,125円

合 計 5,905円



フレッツ 光ライト月額利用料 2,800円 ひかり電話月額利用料 500円 ひかり電話 (データコネクト) 通信料 750円 合計 4,050円

[前提とした回線の利用度数例]

1日回線接続	10回
1ヶ月の営業日	25営業日
1回の通信時間	1分

(参考) INS・データコネクトの通信料金表

[INSの通信料金]

(県内通信、かつ昼間帯の場合)

区域内	8.5円/3分
隣接・20kmまで	10円/90秒
20kmを超え60kmまで	10円/60秒
60km超	10円/45秒

「データコネクトの通信料金]

(データコネクト対応機器からデータコネクト対応 機器へのデータ通信の場合)

64kbpsまで	1円/30秒
64kbps超~512kbpsまで	1.5円/30秒
512kbps~1Mbpsまで	2円/30秒

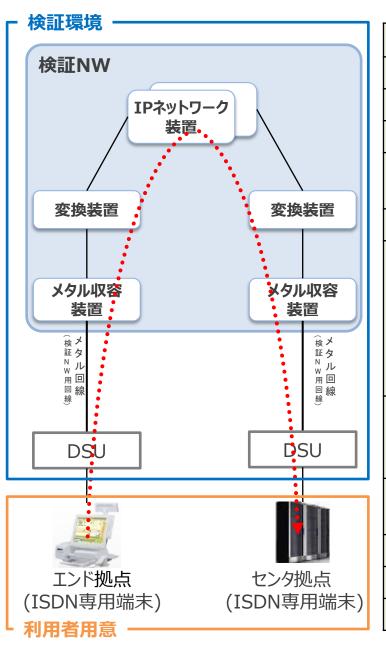
フレッツ光とINS-IP変換アダプタを組み合わせた検証結果

- POS、CAT等の既設 I S D N 利用端末にINS-IP変換アダプタを接続し、IP網を通じて今までどおり通信が可能かについて、ご了解の得られたメーカ等からISDN利用端末をお借りした上で、NTT東西が独自に検証を実施。
- ■これまで6分野13機種の検証が完了し、いずれも通信が可能なことを確認。



※4:音声データを転送する際に、圧縮/展開するための規格(例:AAC, apt-X等)

検証環境の提供条件(案)



項目	条件 等
提供開始日	2016年9月中旬
実施場所	NTT幕張ビル(千葉県千葉市美浜区中瀬1-6)
利用時間	平日9:00~17:00
利用条件	・検証環境は無償で提供いたします。 ・検証で利用するISDN専用端末は利用者でご用意願います。
利用期間	1回の検証で5営業日程度
検証用回線	【検証NW用回線】 エンド拠点 INS64相当*1・・・5回線、INS1500相当*1・・・1回線 センタ拠点 INS64相当*1・・・5回線、INS1500相当*1・・・1回線 【ISDN回線*2】 INS64・・・10回線、INS1500・・・5回線 ※1 検証NW用回線は、補完策提供時のメタル回線を擬似的に準備 ※2 ISDN回線は検証環境と現在のご利用環境との比較のために準備
検証方法	・原則、利用者が検証環境へお越しいただき、検証をお願いします。 ・利用者のご要望により、ISDN専用端末等を当社に配送いただき、当社で検証を実施することも可能です。(配送・返送料は利用者負担となります)
お申込み方法	・当社の専用の申込窓口(コールセンタ) 9月中旬~ ・当社の専用ホームページ 10月上旬~
検証の流れ	次頁参照
検証結果の確認	利用者にて検証結果と公表内容を確認
検証結果の公表	随時、当社ホームページで公表

使証環境利用

検証環境ご利用の流れ

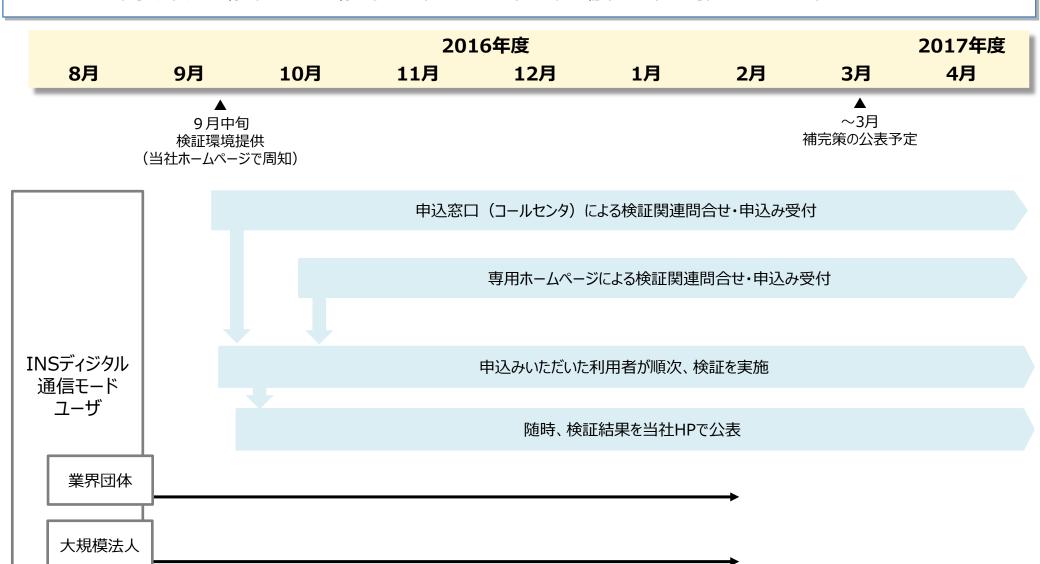
- 検証環境の利用にあたっては、利用者からの申込みに対して当社で検証可能日を回答し、順次検証を実施。
- 検証は、利用者による実施と、当社による実施の2パターンあり、1回の検証期間は5営業日程度を想定。
- 利用者にて検証結果と公表内容を確認していただき、その結果を当社HPで公表。

						_			
ス	実施主	主体	実施	内容	所要日数				
4	利用	渚	検証環境の利用申込み申込書(検証するISDN専用端末、検証希望日等)を記入し、当社への送付		_				
	当社		申込みの受付、申込書の確認検証可能日の回答		1営業日以内※				
	当社		当社の検証内容と、利用者側で確認したい検証内容の確認 検証NWにおいて正常に通信できるかを確認するための判断基準の確認		_				
			パターン1 利用者による検証	パターン2 当社による検証					
	利用者		※事前配送の 場合もあり	• ISDN専用端末等の検証物品の配送	_				
施	パターン1 利用者 Or	パターン2 当社	検証の実施 (検証内容) ISDN専用端末を検証NWに接続し、正常に 通信できるかを確認片付け (検証物品の返送)	検証の実施 (検証内容) ISDN専用端末を検証NWに接続し、正常に 通信できるかを確認片付け、検証物品の返送	5営業日程度				
						• 検証結果を当社へ共有	検証結果の取り纏め報告書作成・報告	3営業日程度	
	利用者		• 利用者にて検証結果と公表内容を確認		_				
₹	当社		• 随時、検証結果を公表		_				
	ス	利用 当社 利用 当社 利用 当社 利用 にある。 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 利用 「大き」 「大き 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き 「大き」 「大き 「大き 「大き 「大き 「大き 「大き 「大き 「大き	利用者 当社 当社 当社 当社 当社 和用者 「パターン1」の「パターン2」 「課報告」 「別別用者」 「別別用者」 「別別用者」 「別別用者」 「別別用者」 「別別用者」	か 利用者 • 検証環境の利用申込み • 申込書(検証するISDN専用端末、検証 • 検証可能日の回答 空 当社 • 申込みの受付、申込書の確認 • 検証可能日の回答 当社 • 当社の検証内容と、利用者側で確認した • 検証NWにおいて正常に通信できるかを確 パターン1 利用者による検証 ※事前配送の 場合もあり ボターン1 利用者 ・ 検証の実施 (検証内容) ISDN専用端末を検証NWに接続し、正常に 通信できるかを確認 • 片付け(検証物品の返送) ・ 検証結果を当社へ共有 ・ 検証結果を当社へ共有 ・ 利用者 • 利用者にて検証結果と公表内容を確認 ・ 利用者にて検証結果と公表内容を確認	対力 ・検証環境の利用申込み・申込書の確認・申込書の確認・検証するISDN専用端末、検証希望日等)を記入し、当社への送付 受付 当社 ・申込みの受付、申込書の確認・検証可能日の回答 当社 ・単社の検証内容と、利用者側で確認したい検証内容の確認・検証NWにおいて正常に通信できるかを確認するための判断基準の確認 ・検証NWにおいて正常に通信できるかを確認・ISDN専用端末等の検証物品の配送 ・事前配送の 場合もあり バターン2 当社による検証 ・ISDN専用端末等の検証物品の配送 ・ISDN専用端末等の検証物品の配送 ・持付け(検証物品の返送)・検証に内容) ISDN専用端末を検証NWに接続し、正常に通信できるかを確認・片付け、検証物品の返送 ・片付け(検証物品の返送)・検証結果を当社へ共有・報告書作成・報告・報告書作成・報告 課果 利用者 ・利用者にて検証結果と公表内容を確認 課果 当社 ・利用者にて検証結果を公表	利用者 ・検証環境の利用申込み ・申込書 (検証するISDN専用端末、検証希望日等)を記入し、当社への送付 ・申込みの受付、申込書の確認 ・技証可能日の回答 1営業日以内** ・技証可能日の回答 ・技証の検証内容と、利用者側で確認したい検証内容の確認 ・技証NVにおいて正常に通信できるかを確認するための判断基準の確認 ・ 大ターン1 利用者 ・検証の実施 ・ 大ターン2 当社による検証 ・ 大ターン2 当社による検証 ・ 大ターン2 当社による検証 ・ 大ターン1 利用者 ・検証の実施 ・検証の実施 ・検証の実施 ・検証内容) ISDN専用端末を検証NWに接続し、正常に通信できるかを確認 ・ 大付け(検証物品の返送) ・ 大付け、検証物品の返送 ・ 大付け、検証物品の返送 ・ 大付け、検証物品の返送 ・ 大付け、検証物品の返送 ・ 大付け、検証物品の返送 ・ 大付け、検証結果を当社へ共有 ・ ・報告書作成・報告 ・ 報告書作成・報告 ・ 報告書作成・報告 ・ 報告書作成・報告 ・ 本日書作成・報告 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成・報告 ・ 本日書作成 本日書作成 ・ 本日書作成 本日書作成 ・ 本日書作成 本日書作成 ・ 本日書作成 本日書作成 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成 ・ 本日書作成			

[※] 検証可能日の回答は検証環境の空き状況によって、後日の回答となる場合があります。

検証環境の提供スケジュール

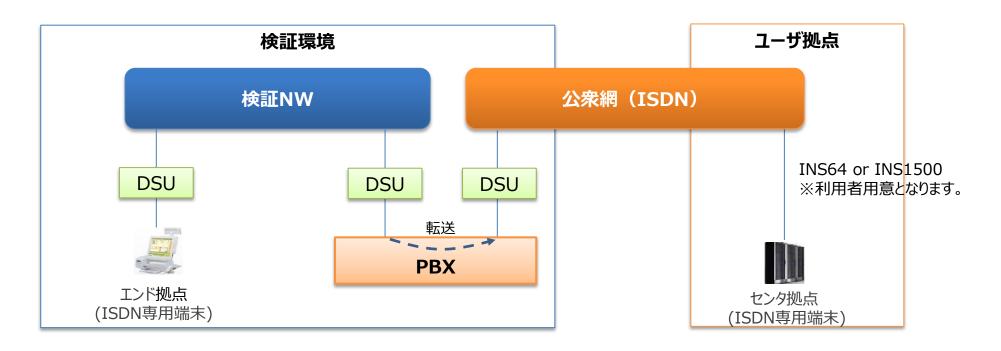
- 検証環境は9月中旬より申込窓口(コールセンタ)にて受付開始。専用ホームページによる受付は10月上旬から開始予定。
- 提供開始に合わせて業界団体・大規模法人企業へ周知〜検証を実施し、主要な利用用途・端末に関する検証結果を早期に公表することで、中小規模法人様・個人ユーザ様が検証を行わなくても利用中の端末の通信が可能であることを確認できるようにしていく。



(参考) ISDN専用端末を持ち込むことが困難な場合等の検証実施方法(例)

- 検証を実施する際は、エンド拠点及びセンタ拠点のISDN専用端末を当社の検証環境に持ち込んでいただく方法を原則とします。
- しかしながら、ISDN端末が現在利用中のため、取り外して当社の検証環境に持ち込むことが困難な場合等を想定し、公衆網(ISDN)経由で接続して検証を実施できる環境もあわせて用意する予定です。(10月中旬~(予定))
- ただし、公衆網経由による検証方法を採った場合、ISDN専用端末を当社の検証環境に持ち込んでいただく検証方法と比較して、PBX~公衆網(ISDN)部分における遅延等の発生を考慮する必要が生じるため、予め利用者と検証内容、検証結果の判断基準等についてご相談させていただきます。

<センタ拠点のISDN専用端末を持ち込むことが困難な場合の検証実施方法(例)>



NTTのスケジュール

(第1回WG資料利1-2別添(参考5)、第16回委員会 NTT提出資料抜粋)

円滑な移行に向けたロードマップ

- ディジタル通信モードの終了時期については、事業者間接続のIP-IP接続への移行方法や移行スケジュールの 検討結果を踏まえて、できる限り早期に時期を確定し、公表していきたいと考えています。
- 光回線によるオールIPへの移行提案に加え、当面の対応策(補完策)として「メタルIP電話上のデータ通信」の 検討を進める考えです。
- また、今後、代替手段の検証環境を提供するとともに、全てのお客様を対象とする問合せ窓口を設置する等、お客様対応を充実していく考えです。

